

TAKE FREE
ご自由にお持ちください

2023 vol.06

NADOLIVE

ナドリーブ

広報誌

NADOLIVE

発行日：2023年5月
発行：名戸ヶ谷病院



Contents

特集1

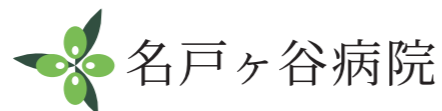
診療科紹介

特集2

回復期リハビリ病棟紹介

診療科紹介：耳鼻咽喉科・頭頸部外科 / 回復期リハビリ病棟紹介
新入局医師のご紹介 / FACE(多職種の活動紹介)
Live well, Live long / PICK UP! / information

社会医療法人社団蛸水会



名戸ヶ谷病院



理念

私たちは全人的医療を目指します

いつでも患者さんの立場に立って医療を行います

先進技術を導入し、適切な医療を実施するように努力します

救急医療を中心に予防医学にも力を注ぎ、医療のあらゆる分野に全力を尽くします

[基本方針]

- 1 患者さんの権利を尊重し、患者さんの信頼と満足が得られるような医療を行うように努めます
- 2 救急医療、急性期医療を当院の使命と考え、救急患者さんは小児から高齢者まですべて受け入れます
- 3 予防医学から在宅医療、高齢者福祉・介護まで、地域に密着した包括的医療を目指します
- 4 地域医療機関や施設との機能分担や連携を図り、救急病院としての機能と責務を果たすよう努力します
- 5 高度な医療と安らげる環境を提供するために、職員の教育と研修に努めます

Access



- 電車の場合
東武アーバンパークライン(野田線)新柏駅より徒歩約7分
- 電車とバスの場合
JR柏駅東口5番バス乗り場 東武バス 新柏駅行に乗りし、新柏住宅でお降りください。新柏住宅の裏が名戸ヶ谷病院になります。
- 無料巡回バスも運行しています
ルート内であれば、乗り降りは自由な場所で行っていただけます。詳しくは、ホームページをご覧ください。

社会医療法人社団蛸水会



名戸ヶ谷病院

〒277-0084 千葉県柏市新柏2-1-1
TEL.04-7167-8336 (代表)
<http://www.nadogaya.com>



外来診療

一般外来を月、火、木、金、土の午前中に診療している。土曜日の外来は予約なく当日受診可能ですが、月、火、木、金の外来は予約制です。紹介症例や緊急症例等は当日でも受診可能です。

専門外来では、特に専門的知識と処置や検査を要する疾患を対象としている。月曜、火曜、木曜午後に開設している。月曜午後の専門外来は、「甲状腺疾患、嚥下障害」、火曜午後は「副鼻腔、嗅覚障害」、木曜午後は「頭頸部腫瘍」である。一般外来受診後の予約となります。



耳鼻咽喉科・頭頸部外科
横山 純吉



【手術治療】

新型コロナウイルス感染症のため手術制限もありましたが、手術件数は次第に増加し年間360件を超えました。また、高齢社会のため手術症例の平均年齢は80代となっており、手術侵襲軽減のため手術時間の短縮や内視鏡の併用、入院期間の短縮に努めています。入院期間は、耳疾患や鼻・副鼻腔疾患では3〜4日、悪性腫瘍では1〜2週間であり術後翌日より早期離床やリハビリを施行し早期退院が可能となっています。

手術内容は、口腔 咽頭 喉頭副鼻腔等の頭頸部悪性腫瘍手術、甲状腺悪性腫瘍、頸部郭清術、遊離皮弁を含む再建術、鼓室形成術等の耳手術、内視鏡下の鼻・副鼻腔手術（鼻涙管閉鎖症手術や翼突管神経切断術を含めて）、深頸部膿瘍手術、気管・食道関連手術、副咽頭間隙腫瘍や耳下腺等の唾液腺手術、嚥下改善手術や音声改善手術等を行いました。特記すべきは、好酸球性副鼻腔炎（厚生労働省指定難病306）の増加が著しく、内視鏡下手術の大部分を占めているということです。真珠腫性中耳炎等の難聴疾患の外科的治療に

診療科紹介

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

幅広い分野に精通した知識と経験を元に
広範な疾患治療を行っています

耳鼻咽喉科専門医／頭頸部癌専門医／気管食道専門医／内分泌・甲状腺外科専門医／癌治療認定／甲状腺学会専門医／嚥下障害相談医や経皮経食道的／胃管取り扱い認定医（PTEG通常の胃瘻挿入困難症例に対応法）

特集 1

従来の耳後部よりのアプローチに加えて外耳道經由に内視鏡を用いた低侵襲手術が増加しました。

【抗がん剤の化学療法】

臓器温存や切除不能の進行癌に対して低侵襲治療の実現には不可欠な治療であり、入院と外来で薬剤部と化学療法室との協力で化学療法を週に3例の割合で施行しています。免疫チェックポイント阻害等の最新の化学療法を施行していますが、幸いにも重篤な有害事象もなく安全に実施できています。

良性疾患の増加と共に悪性腫瘍の進行がんや再発癌の紹介症例も増加しており、増加する症例への対応として帝京大学、東京女子医大、昭和大学の応援により手術や外来治療を実施しています。

【臨床研究活動】

頭頸部癌の最大の予後因子は頸部リンパ節転移であり、早期発見による機能温存療法が重要です。癌が転移する場合、最初に転移するとされる「センチネルリンパ節」というリンパ節があります。この治療に対するICG (Indocyanine Green) 蛍光法

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の 特徴と理念

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は2020年に新規開設した診療科です。「様々な病気に悩み当科を受診した患者様に対して誠意をもつてその患者様に最適な最高の治療が提供できるように日々不断の精進により前進すること」を当科の基本理念とし日々の診療にあたっています。特徴として、頭頸部癌、気管食道疾患、甲状腺・副甲状腺疾患、聴覚やめまい等の側頭骨疾患、鼻・副鼻腔疾患、嗅覚障害、嚥下障害等、広範囲の疾患を診療しています。これらの疾患に対応するには耳鼻咽喉科専門医だけでなく、他多数の専門医資格とその分野に精通した知識と経験が求められ、それらを活用して最新の診療を行っています。鼻・副鼻腔疾患（鼻・副鼻腔腫瘍、頭蓋底腫瘍）、頭頸部癌（口腔、咽頭、喉頭等）や耳疾患（中耳炎や側頭骨腫瘍等）に対しては、内視鏡等を用いた低侵襲治療を行っています。

の研究は日本が世界をリードし、最先端の研究を世界に発信しています。私は長年この分野に対する研究を重ね、英文テキストの頭頸部領域を担当しました。

現在でも英語の論文を年間2本ほど執筆していますが、気が付けばこれまでに100本以上の原著英語論文を執筆しています。特に2021年度は癌研究で最も権威あるジャーナルである「Journal of Clinical Oncology (Impact factor 44)」における研究の集大成となる研究論文が採択され出版されたことは意義深く、今後とも一層の診療と研究が重要と考えています。もう一つの研究は最近注目されている嗅覚研究です。

嗅覚障害の弊害は、これまで考えられた以上に重大であり、認知症や食欲の低下や運動機能低下によるサルコペニア、ガス臭や腐敗臭による身体障害のリスク等あり、最近注目を集めています

日々精進し世界の最新の診療や研究を当院の診療に役立てたいと願っています。

特集
2

当院回復期リハビリテーション病棟は、
「患者さん・ご家族様に寄り添うチーム医療」
を提供します。

回復期リハビリテーションとは？

急性期治療後に自身で上手く身体を動かす事が出来ない、麻痺が残る等の患者さんが集中してリハビリテーションを受けることができる病棟です。マンツーマンのリハビリテーションを365日、1日2〜3時間提供しています。

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療相談員、薬剤師、管理栄養士など多くの職種がチームとなり患者さん個々に合ったプログラムを作成し、退院後により良い形で日常生活・社会復帰が実現できるような橋渡しの役割を担っています。



「患者さん・ご家族様に寄り添うチーム医療」を支える3本柱

1
カンファレンス

情報共有を行い、
患者さんに寄り添う

毎月、患者さん1人ひとりに対してチームでカンファレンスを実施しています。こんなことが出来るようになった、本人が希望する生活を実現するにはどうしたらいい?といった回復過程や課題点を検討する事で、チーム全体で問題解決に向かってプログラムを組むことが出来ます。

チーム医療にはご家族様の協力が必要不可欠です。面談では、患者さんの現状を伝えると共に入院前の生活状況や退院後の生活で問題になる事をお聞きし、プログラムの修正や退院に向けた方向性の決定に役立っています。ご家族様に「この病院に入院してよかった」と思ってもらえるような信頼関係の構築を目指しています。

2

ご家族様との面談

家族もチームの一員



3

自宅訪問・外出訓練

退院がゴールではなく、
退院後の生活を見据える

不安なく日常生活・社会復帰を実現するために、入院中にスタッフが患者さんの自宅を訪問し、手すりの設置や転びやすい箇所がないかを確認する自宅訪問。実際に公共交通機関の利用やスーパーでの買い物を行う外出訓練を実施しています。訓練場所を病院内に限らず、実際に生活する場所・地域も含めて訓練場所と考えています。※現在はコロナウイルス感染対策として、当院規定の実施基準に準ずる場合のみ実施しています。



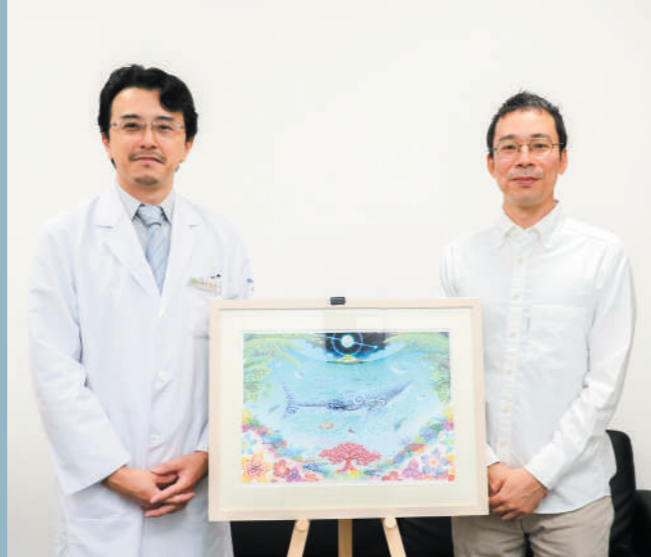
令和4年9月より当院回復期リハビリテーション病棟は32床から36床に増床しました。また、令和6年7月に回復期リハビリテーション病棟50床、地域包括ケア病棟50床を有する名戸ヶ谷記念病院が開院します。今後、より一層患者さん・ご家族様に寄り添うチーム医療の追求、治療からリハビリテーションまでを一貫して提供する地域に密着した病院を目指していきます。

PICK UP!

整形外科病棟の全個室(20部屋)と リハビスペースに琉球イラストレーター “与儀勝之さん”の作品を展示

この度、名戸ヶ谷病院3B(整形外科)病棟では、無機質になりがちな病院という環境にアートの要素を取り入れることで、入院や手術に対し緊張や不安を抱える患者さまの心を和ませリラックス効果をもたらしてくれることを期待し、全個室に絵画を展示しました。

鮮やかな色使いで、沖縄ならではの自然の豊かさや生命のたくましさ表現した21作品の絵画を各個室に展示しています。生命力あふれる“与儀勝之さん”の絵を目にした患者さまからは「心が豊かになった」「部屋に入った瞬間に見入ってしまった」「部屋が明るくなって元気になった」「ついつい見入ってしまう」「他の病室にも入ってみたい」とのお言葉をいただいています。



天を見上げて/Imagine paradise

【名戸ヶ谷病院に作者の“与儀勝之さん”訪問!】

作者の与儀さんが直接病室に訪室し、患者さまに絵をプレゼントするという嬉しいサプライズがありました。絵を目にした患者さまは、一生の思い出になったと喜ばれていました。

今回絵を展示するに至った経緯は、副院長で整形外科部長である國府医師が、あるイベントで与儀さんの絵を目にし心を打たれたことがきっかけでした。「ぜひ病棟に飾りたい」との熱意から実現したものです。この作品を通して、患者さまが笑顔になり、明日への活力となってくだされば幸いです。

作者紹介

那覇市生まれ、沖縄県立芸術大学卒。東京で広告代理店のグラフィックデザイナーとして6年勤務した後、沖縄へ帰郷する。そのとき沖縄で目にした自然の豊かさや生命のたくましさ、そして地に根付いた伝統文化に改めて感動したことで、創作が始まる。紅型・螺鈿細工・影絵・浮世絵・縄文土器といった古典芸術から影響を受け、古と新を繋ぐ作風へと至る。伝統を次代に繋ぐ気持ちを込めて「琉球イラストレーション」と称する。また陰陽や文様といった要素を織り込むことで、アジア的宇宙観を表現することを目指している。ユニクロ T シャツやサンシャイン水族館イベント時の壁画、オリオンビール缶デザインなど多方面で活躍中。

i Information

i 脳外科出張授業

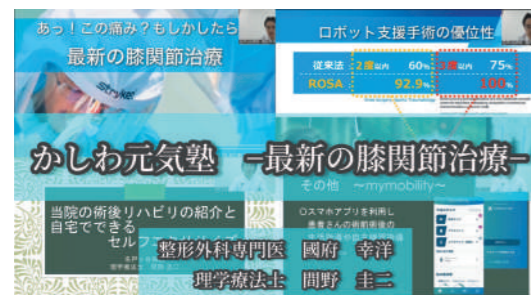
11/1(鎌ヶ谷第三中学校)12/7(湖北北西小学校)、井上靖章医師(脳神経外科部長)が次世代の医療を担う子どもを育む機会を創出することを目的に、出張授業を行いました。地域の皆様と一体となり、地元である千葉の発展に貢献することを目指し活動を始め今回がその第1歩となりました!

生徒の皆様から「先生はどんな手術をするの?」「先生はいつ休んでいるの?」等沢山の質問も飛び交い、とても充実した時間を過ごさせて頂きました。

今後も当科ではこのような活動を継続して参ります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



i かしわ元気塾講演

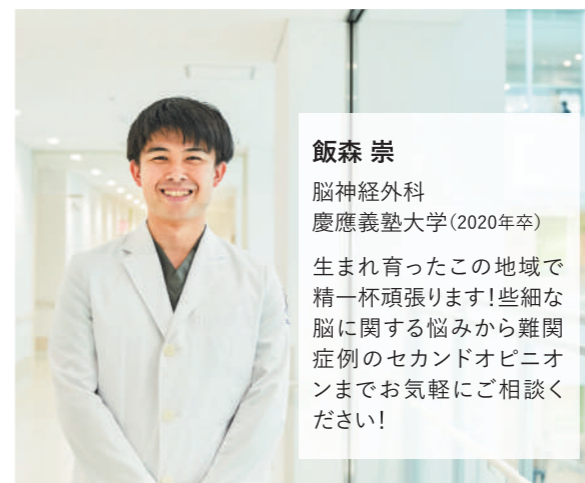


【かしわ元気塾】にて当院、副院長・整形外科部長の國府幸洋医師らが最新の膝関節治療について講演致しました。当院では再生医療(PRP、APS)に加え、昨年7月に人工関節手術支援ロボット「ROSA Knee(ロザ・ニー)システム」を千葉県で初めて導入しました。その後も多数の患者さんの治療を経験し、今回、柏市市民公募で要望が多かった「膝の痛み」に関する講演を実施致しました。

柏市ホームページにて講演動画を無料アーカイブ配信中ですので是非ご覧ください。



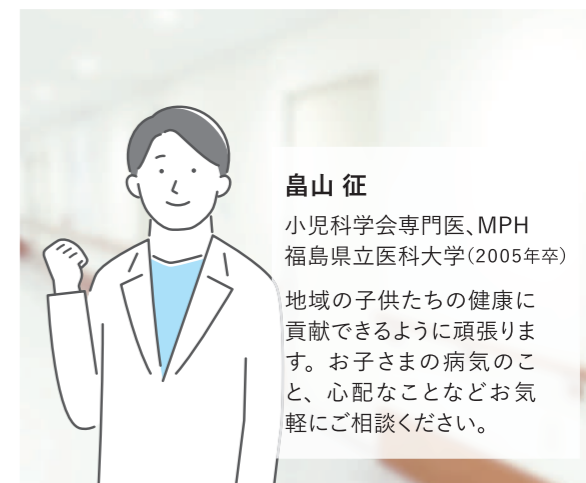
新入職医師の紹介



飯森 崇

脳神経外科
慶應義塾大学(2020年卒)

生まれ育ったこの地域で精一杯頑張ります!些細な脳に関する悩みから難関症例のセカンドオピニオンまでお気軽にご相談ください!



島山 征

小児科学会専門医、MPH
福島県立医科大学(2005年卒)

地域の子供たちの健康に貢献できるように頑張ります。お子さまの病気のこと、心配なことなどお気軽にご相談ください。

FACE リンパ浮腫外来

リンパ浮腫とは様々な原因により、リンパ液が手や足に滞り、むくんだ状態を言います。当院のリンパ浮腫外来では、癌術後や原発性のリンパ浮腫、廃用性浮腫でお困りの方を対象に保存的治療・複合的理学療法(①スキンケア、②医療リンパドレナージ③圧迫療法④圧迫下での運動療法⑤セルフケア指導)を行い、必要に応じて医師による外科的治療の二本柱で治療を行っています。むくみでお困りの方は一度、専門外来の受診をお勧めします。



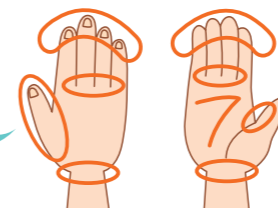
この「Live well, Live long(健康で長生き)」では、毎回専門職の方から健康で長生きするためのコツと知恵をレクチャーしてもらいます。

感染対策は、病気を引き起こす病原菌が身体に侵入してくる時、最も頻度が高いと考えられているのが『手指』を介した感染と言われています。こまめに手指消毒をすることは『感染しない・感染させない』ためにとても大切なことです。

手指の正しい消毒手順

- 1 噴射する乾燥性手指消毒剤を指を曲げながら適量手に受ける
- 2 手の平と手の平を擦り合わせる
- 3 指先、指の背をもう片方の手の平で擦る(両手)
- 4 手の甲をもう片方の手の平で擦る(両手)
- 5 指を組んで両手の指の間を擦る
- 6 親指をもう片方の手で包みねじり擦る
- 7 両手首までいいいに擦る
- 8 乾くまで擦り込む

洗い残しの多いところ



爪の間に汚れが残りやすいため、爪を短くしておくことも感染予防には重要です。

